共立刈払機　SRE261PHV

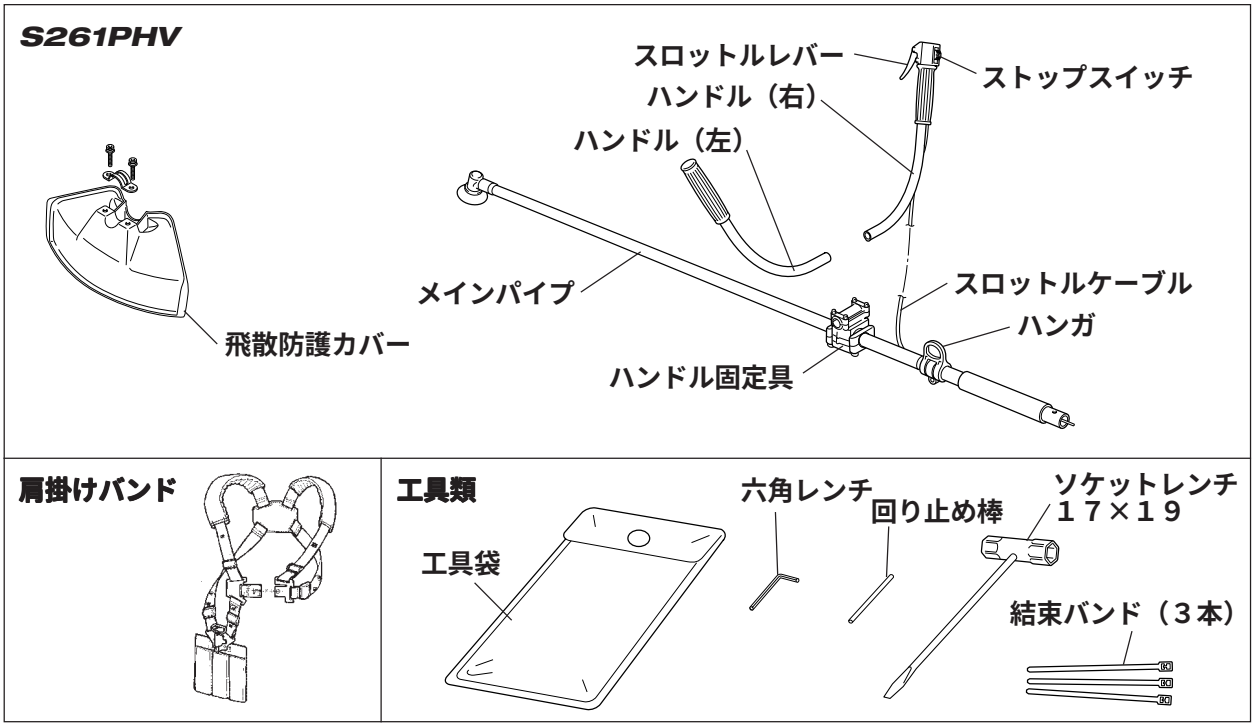


図１

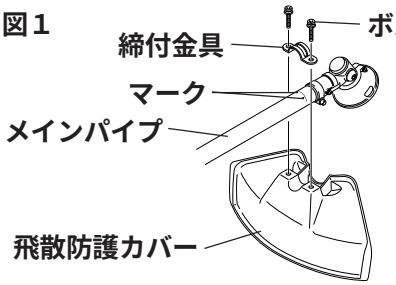


図２

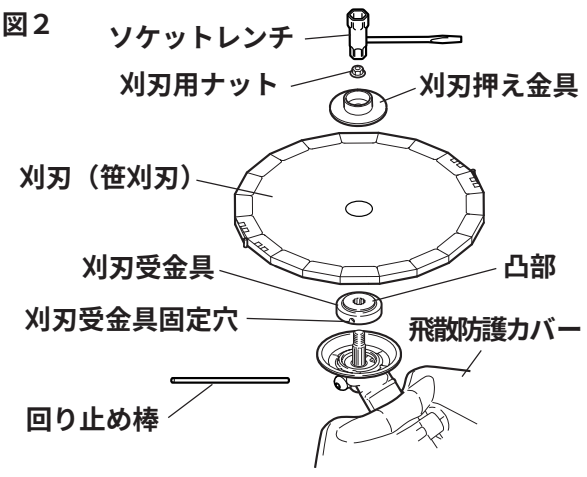
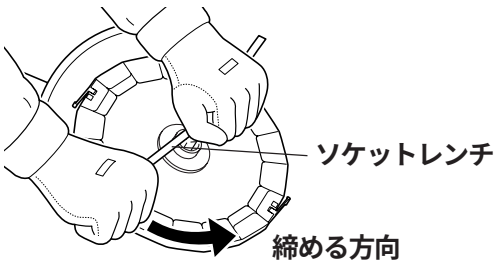


図３



エンジン側に同梱されている取扱説明書の注意事項も合わせてお読みください。

飛散防護カバーの取付

1. 締付金具をマークの位置に合わせて、飛散防護カバーでメインパイプをはさむように取付けてください。（図１参照）
2. 締付金具の穴にボルト（２本）を通し、付属の六角レンチでボルトを締め、飛散防護カバーをメインパイプに固定してください。

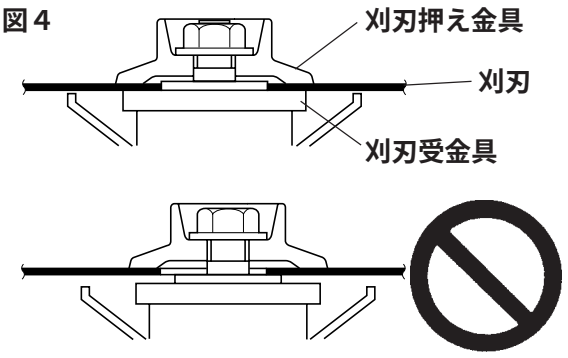
刈刃の取付

1. 刈刃に刈刃カバーを取付けます。
2. 刈刃受金具を回して、ギヤケースの回り止め棒差し込み穴と刈刃受金具固定穴を合わせ、付属の回り止め棒を差し込み、刈刃受金具を固定します。
3. 機械を反転して付属のソケットレンチ（１７mm）で刈刃用ナット（左ネジ）を時計方向に回し、刈刃用ナットと刈刃押え金具を外します。
4. 刈刃の回転方向に注意して、表側（刻印やＪＩＳ・矢印マークなどのある面）を刈刃受金具に向け、刈刃受金具の凸部に組付けます。
5. 刈刃の中心の穴が刈刃受金具の凸部に合っていることを確認し、刈刃押え金具と刈刃用ナットを組付けます。
6. 回り止め棒を差し込んだ状態で、刈刃用ナットを付属のソケットレンチで反時計方向に回し、確実に締付けます。
7. 回り止め棒と刈刃カバーを外し、刈刃を手で回して振れ・ゆるみがないか確認します。

●刈刃固定金具類：部品番号

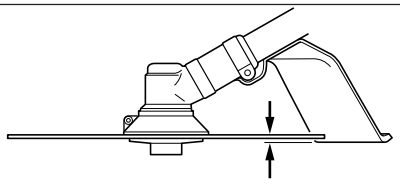
刈刃用ナット	：６１０３２０－２７４３０
刈刃押え金具	：６１０３１４－４０５３１
刈刃受金具	：６１０３１３－４０５３０
回り止め棒	：８９７５１８－０１１３１
ソケットレンチ	：Ｘ６０２－０００２０

図４



刈刃のずれは危険、正しく取付けること

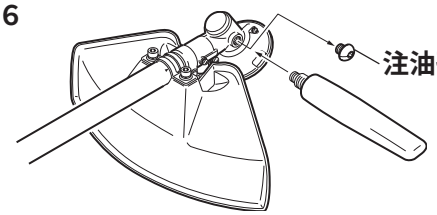
図５



刈刃は飛散防護カバーの内側になっていること

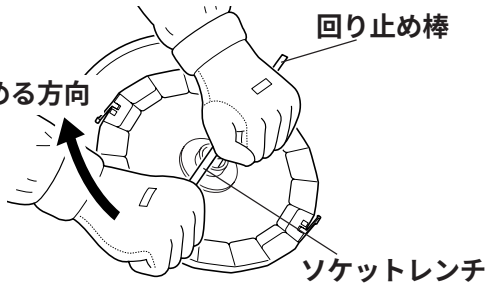
飛散防護カバー
部品番号：Ｐ０２１－００４４５２

図６



共立純正ギヤケースグリース
部品番号：Ｘ６９５－００００２０

図７



刈刃と飛散防護カバーの取付位置確認

●刈刃が正しく取付いていないと異常振動し、ケガや機械の故障の原因になります。刈刃を手で回し、刈刃のブレがないか確認してください。(図４参照)

●刈刃が飛散防護カバーの内側になっているか確認してください。(図５参照)
内側になっていない場合は飛散防護カバーの取付を修正してください。

ギヤケース

●ご使用前に刈刃の固定金具類、および各部を点検してください。摩耗・ガタがある場合は新品と交換してください。

●作業５０時間毎にギヤケースグリースを注油してください。

1. 付属の六角レンチで注油孔ボルトを外してください。(図６参照)
2. 共立純正ギヤケースグリースのチューブを注油孔にねじ込んで補給してください。
3. 注油後は、注油孔ボルトを付属の六角レンチでしっかり締付けてください。

刈刃の交換

1. 刈刃は当社純正品を使用してください。板厚が１.２mmよりも薄い刈刃は使用しないでください。
2. 刈刃に刈刃カバーを取付けた後に、刈刃を回して回り止め棒差し込み穴と刈刃受金具固定穴を合わせ、付属の回り止め棒を差し込みます。
3. 機械を反転して付属のソケットレンチ(１７mm)で刈刃用ナットを時計方向に回して刈刃用ナットと刈刃押え金具を外し、刈刃を取外してください。
4. 刈刃受金具を外し、内側のゴミを取除いてください。
5. **刈刃の取付手順と注意事項は、エンジン側に同梱されている取扱説明書の「刈刃の取付」も参照してください。**

形式名		***SRE261PHV***
項目	単位	
質量 エンジン部（燃料除く） 刈刃ユニット （刈刃、肩掛けバンド除く） エンジン部、刈刃ユニット	 ｋｇ ｋｇ ｋｇ	 ３．０(***SREB261P***) ２．５(***S261PHV***) ５．５
刈刃ユニット 歯車減速比および潤滑剤		減速比　１．３１ 共立純正ギヤケースグリース（部品番号：X695-000020）
外形寸法　長さ×幅×高さ	ｃｍ	１７７×５５×４２

＊ この仕様は予告なしに変更することがあります。

◎ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

株式会社 共立

〒198-8711　東京都青梅市末広町1-7-2　☎ 0428-32-6181

X753-002 14 2
X753 209-590 2

© **2004** 株式会社 共立　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。

0604n 0105 ES